

国も地方も 暮らしを守る政治へ 中身を変えるとき

5日開会された9月議会は、平成19年度各会計の決算認定などの議案が上程されました。9、10日には予算決算常任委員会が開かれ付託案件を審議、続く総務民生常任委員会では「ふるさと納税制度」に基づく寄付金条例等の審議が行われました。

各付託案件は、最終日19日に委員長報告の後、質議、討論、採決となります。

消費税を上げるな

西澤議員が2つの意見書提出

西澤議員は、10日、「消費税の増税を行わないことをもとめる意見書」「国民生活を応援する経済対策を求め意見書」(それぞれ案)を提出しました。これは地方自治法に基づく議員の議案提出権を活用したものです。

社会保障には

最悪の財源

消費税の増税を行わないよう求めた意見書(案)では、年金の財源に消費税の増税で賄おうとする自民党・公明党政府の論議を指摘し、「現在、国民全体の所得は下がり続けているばかりか、物価高騰や増税が庶民に重くのしかかっている。その上さらに、低所得者にはより重く、逆進性を持つ不公平な税制である消費税を引き上げれば、貧困と経済格差はさらに広がり、日本経済を一層危機に陥れることは必至である。」と警告。「低所得者ほど

負担が重くなる消費税の増税を社会保障の財源に充てることは最悪の策である。」と断言。「消費税の増税を行わないこと」と現行消費税の「食料品非課税措置」を求めています。

生活応援の経済対策を求めた意見書では、燃油価格諸物価の高騰は「国民生活はもとより、農業・漁業・運送業・建設業などの中小零細業者の経営を困難に陥れており、国民生活防衛の緊急経済対策を強化するよう求め、投機マネーの規制と直接補填、税などの負担軽減を求めています。

開発許可について、適切な指導を

… 湖東振興局に要請：11日、西澤議員は、湖東振興局に対し「交流村」施設建設をめぐって、計画の

全体や運営・経営の責任機関が確定していないなどの理由で、開発申請を提出できる状態ではない」などとする要請書を出しました。県が開発許可を出せば、計画全体を県が許可したと町民は受け取る。慎重に判断すべき、などと要請しました。対応した建設管理部の副部長は「公正に対応する」などと応じました。

お元氣ですか

のぶあきです。自民党の総裁選挙が始まっていますが、みなさんはどのようにお考えでしょうか。まるでテレビジャックされたかのように、「派手」に報道されています。とりわけ、公平・公正な報道を義務づけられているNHKの偏りぶりはひどいと思います。落語家の立川談之助さんは「しんぶん赤旗」紙上で、この総裁選は「買収しようが、ワイロを贈ろうが、公職選挙法にひっかかり、公職選挙法にひっかかり、政治も悪いし、テレビも悪いですね。選挙の公平・公正からいったらとんでもない話です」とキツパリ。2代続けて政権投げ出しの背景には、「自公政治の破たん・弱肉強食をすすめた『構造改革』路線」があるのでは。日本共産党は、顔・担い手を変えるのではなく、大企業、アメリカ中心をやめて、家計に軸足を移す政治の中身を変えるよう頑張ります。

一般質問は19日に 質問時間35分に

9日に開かれた議会運営委員会で、一般質問通告した議員が3人であったため、17日の予定はとりやめ、19日に行うことを確認。また、西澤議員が要請していた質問時間の制限については質問時間のみをカウントし、その時間を35分とすると報告されました。

19日 AM 9:00 開会
役場 2階：議場

本会議の予定は9時開会。決算や条例など付託議案の委員長報告、質議、討論、採決。そして、追加議案、意見書などが提案され審議後、採決。その後、一般質問(北川豊昭議員、藤堂一彦議員、西澤伸明議員の順)の予定です。

傍聴におこしく下さい



甲良民報

2008年9月14日 395号
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在土463
Tel. Fax 38-4949

ひとりひとりの「意見」に誠ありがとうございます

自由意見特集その10

(9月5日までの回収分も自由意見が多いため、未掲載の方もありません。順次掲載しますのでお待ちください。句読点、接続詞などは編集者で補正しました。)

建設は先行すべき

(今まで寄せられた意見は掲載済み)

建設は先行すべきでない

中身がないのに箱だけではどう仕用もない。(50代)

住民不在のふるさと交流村、農業振興にはまったくならない。赤字経営の負担はだれが負うのか。(60代)

短期、中期、長期計画、経営計画がまったくなされていない。こんな計画やめては。もつとやらなければならぬ事は、特産品をもつと育てる事とか、その前に、お金を農業振興に有効に使って農家を育て、それからこの計画に進むべきだ。

のその他・町長のリコールをしてはどうか、責任が明確でない。収支がどうなるかの目標計画がない。

年何回か区町会を開いて議会との連携を密にして、町長の執行権行使を阻止すべきだ。町長のリコール運動までしてはどうか。後継者の問題はどうか。(将来)出張のようになつたら誰が責任をとるのか。机上の空論にすぎない。区長会を開いて意志決定をされるべきだ。(60代)

無駄、余計なことはいらないで下さい!!住民の迷惑のかかることはやめて下さい!!そのお金を福祉や、役に立つことに使ってください。納得いきません!!やめて下さい!!(20代)

できて、絶対に協力しません!!一字一語で何かするので協力して、と言われるのがわかってるのでイヤです!やるなら、一般の住民を巻き込まないで下さい、(20代)

他府県、他地区の同様の施設等も



必ずしも全て成功しているとは言いがたく、特に甲良の場合、目立った特長も無いまま話題先行で投資だけ行なったところで回収できる当てが無い。

赤字が発生した場合、推進した人間の資財(議員ならその収入、年金、退職金も含め)全てを持って負担し、町民に一切迷惑をかけないという保障できるならお好きにどうぞ。(30代)

【広報こうら】はいい事ばかり書いてあり、まるで成功してあたりまえの点が大きく述べられていて、もつと慎重に考えるべき。

とにかく、農業のくらし、町民のくらしが今以上によくなるように頑張りたくまた、よろしく(政治にも不安)願います。(50代) 反対。まわりの道の駅が成功しているからといって甲良の道の駅が成功するとは思わない。

町は職員採用にしても同和地区優先しているように思われ、今回も、もし出来上がった採用される人は地区優先になるのが目に見えてわかると思う。(50代) 福祉予算にもつと税金をまわすべき。(80代)

個々の収入の伸び悩み中、原油高騰の煽りを受け、諸物価は跳ね上がり、大変な時代になってきました。甲良町では、ここ10年余りで千人以上の人口の減少が続いています。おそろくまだまだ減少が続くと思われます。町は、この問題を最重要課題として取り組んで頂きたい。

反対の理由は、1、特産品がない。

2、農業振興、地域振興にならない。3、赤字経営の危険性が高い。4、町民の税金負担が大きくなる。5、ふるさと交流村といかにも良いネーミングをしているが、交流村になぜコンビニが必要なのか。また、町の活性化の為に説明されているが、本当にこの施設で町が活性化するのはなはだ疑問を感じる、7億4千万円の投資だけでは終われません。建設後の維持管理費も相当な金額になると予想されます。今、国も地方もあらゆる項目について見直しが行なわれています。甲良町も一刻も早く見直しされる事を望んでいます(50代)

血のにじむような税金を簡単に使わないようにせよ(70代)

特産品など色々出品して売ってみて利益があれば考えられるが何も無いのに建物をたてても無理、絶対反対すべき。町民の負担が大きくなる。反対(60代)

道の駅を作ってもどこにでも有る様なものを並べただけでは人は寄ってこない。集客力の有る特産品もないのに赤字になるのは目に見えているのでやめてほしい。最初に巨額のお金が必要なのは数字で出ているが、維持する為のランニングコストの収支の試算も数値化してほしい(40代)

この自治体も財政赤字なのに、赤字を増やすべきでない。

コンビニの経営は民間であつて町民のためにならない(50代)

「意見」ご感想などを
お待ちしています

